

(13) イベントの充実

【主導施策】いつでも楽しめるイベントづくり

■狙い

- ・イベントはその効果の検証が難しく、一般的に例年通りの実施、地域全体への効果を狙ってイベントそのものの採算は考えないケースが少なくない。
- ・費用対効果を明確にするとともに、観光客の滞在化、リピート化を促すための質の向上を目指すとともに、イベントの質の向上のためのノウハウの蓄積を狙う。

■方策

冬季イベントの魅力アップ事業

- ・イベントを実施する上での課題を把握し、具体的な改善策を検討・実施する。来訪者のアンケート等も実施し、課題の把握を行い、例えば分散して迫りに欠けているものは集約化し、デザイン的に完成度の低いものについてはセンスアップを行うなど、イベントの質の向上を図る。
- ・また、冬ならではの“温かくなる食べ物巡り”やそれに因んだ“鍋市(土鍋や鉄鍋、鍋関連商品の展示即売)”等、“物語性”を付加し、冬ならではの取組みを検討する。

実施主体：観光協会、富士河口湖町観光連盟、観光まちづくり団体、ふるさと振興財団、富士河口湖町

参考

冬のしだれ桜巡り

郡山観光交通株式会社では、春には優美な姿を見せるしだれ桜の冬の姿を巡り歩く観光コースを提案している。

冬にしか見られないものと、それを本来の季節に見ることをセットにしてPRすることで、年間に幾度かきてもらえるようにしている。

郡山観光交通が提案する冬の観光情報案内
冬のしだれ桜巡りのおすすめ観光コース
冬の楽しみが一目とブレッドアップいたします
一本桜の苗木、しだれ桜・江戸七丁・山桜の魅力をあふれるありのままの様子の写真を撮影にお出で下さい。今季節だからこそ、その姿、形、枝葉に新鮮な気持ちで眺め、やがて来る春爛漫のひとときを思い、冬化粧から花化粧へと、新緑にして紅葉に花開く、その姿を写真に収めませんか。

画像もアップにてお見せいたします。桜の満開の画像になります
Windows XP SP-2 導入の場合ブラウザは、コンテンツを許可してください



滝桜 地蔵桜 観音桜 不動桜 御殿桜

観光コースは、弊社のさくら紀行コース及び桜景観付添を参考にして下さい

冬季限定で料金はネット料金です

車種 ↓ コース時間 →	3.0時間	4.0時間	5.0時間	6.0時間	7.0時間
小型タクシー	¥ 12,600	¥ 16,000	¥ 20,000	¥ 23,500	¥ 27,000
ジャンボハイヤー	¥ 21,000	¥ 28,000	¥ 34,000	¥ 39,000	¥ 42,000

有料道路、高速道路、拝観料、入館料 と、各料送料、および乗務員宿泊等は別送料といたします
※乗車してありコースは乗車コースです。自由に設定変更も可能ですが、(フラット料金)を要します

季節限定コース

観光コースの中で季節限定になりますが、その他、お気味のご要望にあわせて、美しい桜の演出を行います。お気味に弊社観光定切部および観光バス営業部のスタッフまでお申し込みください

福島県内の観光地はもとより、名所旧蹟、歴史、風情、郷土料理など県内の魅力をご案内します。
また専任の観光ガイド(小乗務員)がきめ細かいサービスに努めておきます。
郡山観光交通株式会社の、タクシー、中型ハイヤー、ジャンボハイヤー、マイクロバス、観光バスのご利用を、スタッフ一同、心よりお待ち申し上げておきます。どうぞ、よろしくお申し込みください。

お申し込み、お問い合わせは
郡山観光交通株式会社 観光貸切部
TEL 024-945-0701 FAX 024-945-1324
ブラウザは、 Netscape 7.0 Internet Explorer 8.0 以上、 300x 或はそれ以上の解像度を推奨いたします。
<http://www.yamaguchirg.co.jp>

ハーブフェスティバルの魅力アップ事業

- ・ハーブフェスティバルはショルダーシーズンにおける集客の役割は十分に果たしており、今後は町全体で“物語性”を向上させるために、地場産ハーブにこだわった商品づくり等、イベントの質の向上を図るとともに、地域全体で庭先にハーブを植栽したり、飲食店におけるハーブ関連メニューを開発するなど、地域への収益還元、環境向上を目指し、地域全体がハーブフェスティバル会場という意識づくりを促進する。
- ・また、宿泊に繋がる企画や、イベント後も屋外空間の環境向上に繋がるような取組みなどを実施する。
- ・ハーブフェスティバルの期間は、河口湖駅や公的な観光施設にハーブを飾り、「町全体のイベント」という雰囲気を作り出すことも重要である。

実施主体：観光協会、富士河口湖町観光連盟、ふるさと振興財団、観光まちづくり団体、富士河口湖町

紅葉まつりの魅力アップ事業

- ・更なる集客と地域への利益還元に繋がるように内容の充実を図るとともに、音楽や映像等、地域文化を活かし、見たり聞いたり味わったりと、五感で楽しむイベントとなるような内容の充実を図る。
- ・また、会場内だけで行うイベントではなく、地域全体に波及効果が及ぶように、飲食店での“紅葉メニュー”の開発や、畑の収穫物の青空販売など、町全体で連携するイベントとしていく。
- ・また、年間に行われる他のイベントと連携した“イベントラリー”等によって、何度も来てもらえるような仕組みを「串刺し企画」として実施していくことも魅力アップに繋がる。
- ・この他、河口湖駅や公共施設での“紅葉”の展示や、中心会場では、梨川の河床を歩けるように特設デッキを設置したり、たき火を活かした“マイ焼き芋づくり”、FM電波やWi-Fiで音声を提供した“紅葉シアター”など、会場で時間を過ごしてもらう楽しみを提供する。

実施主体：観光協会、富士河口湖町観光連盟、ふるさと振興財団、観光まちづくり団体、富士河口湖町

【イベントの充実に関する、その他関連施策・事業】

地域の祭りも含んだ、イベントカレンダーづくり
地域資源を活かした新イベントの企画・実施
四季のイベントを連携させる“イベントラリー”の実施

(14) 地域資源を活かした滞在プログラムの充実

【主導施策】ヘルスツーリズムの推進

■狙い

- ・「もっと健康に、もっと美しくなる旅行」、「健康で安全・安心な旅行」の受入れを積極的に展開し、“ヘルスツーリズムといえば富士北麓”というイメージづくりを行う。
- ・そのための戦略づくりから、実践に至るまで、全国のヘルスツーリズムの推進組織への働きかけなども行いながら、実験的な企画実施なども積極的に受け入れ、ヘルスツーリズムを根付かせる。
- ・また、住民の健康づくりプログラムとしても活かし、地域全体で“健康な観光地づくり”、“健康になる観光地づくり”を促進する。

■方策

ヘルスツーリズムの研究

- ・富士河口湖町の最大の資源である自然環境を活かしつつ、温泉、森林浴、アロマセラピー、アニマルセラピー、医療等を組み合わせた健康や美容に関連する“ヘルスツーリズム”について、その可能性と具体的取組みを研究し、実験的にモデルツアーなどを実施する。
- ・富士河口湖町の自然環境（森林（空気）・水・温泉）の中で健康運動やウォーキング、森林・星空リラクゼーション、日光浴などの癒しプログラムを体験し、ストレスを解消する新しい健康増進の宿泊ツアーを企画実施する。宿泊中の食事も体にやさしいマクロビオティック料理などで提供し、健康度測定も実施することなどが考えられる。
- ・モデル的なプログラムの実施や、全国のヘルスツーリズムの推進組織への働きかけなども行いながら、実験的な企画実施なども積極的に受け入れ、実施する。

実施主体：富士河口湖町観光連盟、観光まちづくり団体、富士河口湖町、医療機関等

参考

国土交通省、和歌山県立医科大学によるヘルスツーリズムモニターツアー
国土交通省総合政策局観光資源課(現、観光庁観光資源課)と和歌山県立医科大学は、平成18年11月に糖尿病患者を対象としたヘルスツーリズムのモニターツアーを実施。糖尿病患者に対して、専門医師等による健康セミナーを実施するとともに、食事指導や、精進料理の体験を行った。また、森林ウォーキングを通じて日常の運動を含めた生活指導を行うことにより、糖尿病の改善を図った。

マクロビオティック (Macrobiotic) : 長寿法を意味し、第二世界大戦前後に桜沢如一が、自ら考案した食生活法や食事療法の名称として広めたことから、現在ではこの意味で用いられることがほとんどで、食生活法は欧米でも普及しており、玄米、野菜、海藻、豆類のみを食す「玄米菜食」「穀物菜食」「自然食」等とも呼ばれる。

福島県会津地方振興局、会津大学短期大学部によるヘルスツーリズムモニターツアー
 福島県会津地方振興局と会津大学短期大学部地域活性化センターは、平成19年9月、奥会津地方の地域資源(温泉、伝統的食文化、自然、伝統文化など)を活用したヘルスツーリズムのモニターツアーを実施。内容は、健康チェック、ウォーキング、森林浴、そば打ち体験、只見川屋形舟遊覧、温泉入浴、民俗歌舞伎鑑賞、メタボリック予防改善講座等。

田沢湖、湖畔の杜レストランORAEで実施されたモニターツアー

ヘルスツーリズムとは、旅の非日常の楽しみと健康の維持、回復、増進を目的とした医療の部分を組み合わせたものを指し、科学的な測定や分析という要素を取り入れながら遂行される新しい旅行形態。

参加者は、食事前に血圧や採血などのヘルスチェックをし、昼食後にウォーキングなどをこなす。

効果的な温泉入浴方法などのレクチャーや、1日の消費カロリーを設定した食事などがセットにする場合もある。

カロリー制限を行いながらも、おいしく、見た目にも美しい料理や、楽しく歩くといった、これまでの医療とは異なる要素を多く取り入れている。



血圧測定などを行う



ヘルシーな食事の提供



ウォーキング前後には数値をチェックする

【地域資源を活かしたプログラムの充実に関する、その他関連施策・事業】

- 滞在プログラムのリストアップ
- 滞在プログラムの魅力アップ支援事業
- 新規体験プログラムの開発支援事業
- グリーンツーリズム振興事業
- 貸農園整備事業
- ブルーツーリズム(釣り・水上レクリエーション)情報の収集・発信事業
- スポーツツーリズム振興事業(情報整理、新規イベントの創出等)
- 食文化体験プログラム開発事業
- ヘルスケアスポット探しと活用

(15) 自然との触れ合い環境の充実

【主導施策】歩いて自然環境を肌で感じるハイキング路づくり

■狙い

- ・自然と人間との接点となる遊歩道の整備充実を図るとともに、ハイキングやウォーキングの効果や魅力を伝え、誘客を促すソフト面での手法の充実を図る。

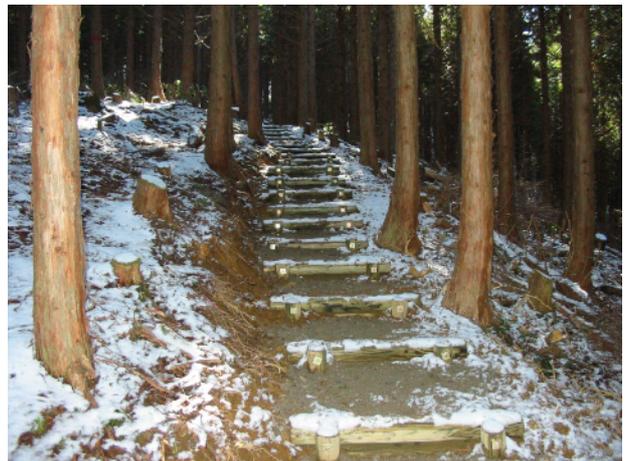
■方策

自然歩道の充実

- ・ハイキング・軽登山の魅力向上のために、現状の調査と定期的な点検システムを確立し、その結果に基づいた自然遊歩道網の充実や、散策環境を向上させるためのルート管理・整備、サイン整備、マップづくりなどを充実させる。
- ・歩く楽しみだけでなく、風景を楽しむための展望園地整備を既存の自然歩道で実施する。簡単なベンチの整備と見通し伐開等を行い、風景の維持のために定期的な点検と整備を継続的に行う。

実施主体：富士河口湖町、観光まちづくり団体

参考



和歌山県における近畿自然歩道の整備事例
左 - 平成18年度、近畿自然歩道整備事業で整備した宇久井半島を訪ねるみち案内看板
右 - 平成18年度、近畿自然歩道整備事業で整備した日光神社を訪ねるみち歩道

「山道クラブ」の組織

- ・定期的に町内のハイキングルート歩いて、危険箇所や崩壊箇所のチェックを行うとともに、補修材料を携行し、簡単な補修作業も行う、山道の補修ボランティアを行う組織の立ち上げを促す。
- ・山歩きやウォーキングによる健康づくりを趣味とする人たちに呼びかけ、ボランティア組織を立ち上げてもらい、補修の権限を委譲して、保守管理をまかせる。

実施主体：観光まちづくり団体、富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町

参考



巻機山ボランティアーズの活動

巻機山は湿潤な泥炭層で形成されており、環境的に脆弱であるため、登山者の踏みつけにより裸地化し、それが風雨等により、急速に破壊された。

その破壊された風景を、木道の敷設、階段の設置、自生植物の播種と保全、土砂で埋もれた池塘の復元等を行政、地元、外郭団体、大学等と連携して作業を進めてきた。

昭和50年代前半から取り組まれている巻機山の環境保全活動では、様々な取組が行われているが、一般にボランティアを募り、大量の改修資材の荷揚げなども行っている。

環境保護など難しいことはわからないが、山登りを楽しむために何か役に立ちたいという一般のボランティアを上手く活用して取組を継続している。



【自然との触れ合い環境の充実に関する、その他関連施策・事業】

湖畔遊歩道・シーニックトレイルの延伸整備

シーニックトレイル：良い風景を楽しめる、または楽しむように整備した遊歩道

(16) 国際観光対応の充実

【主導施策】外国人観光客が楽しめる観光コースづくり

■狙い

- ・外国人のニーズを把握し、旅行商品づくりに繋げていくノウハウの蓄積と、外国人観光客の増加に伴う受け入れ側の対応の強化を図る。

■方策

外国人が楽しめるモデルコースづくり

- ・外国人の志向を把握し、志向に合ったモデルコースづくりを行う。志向の把握には、外国人観光客インバウンド関係のエージェントへのアンケート等を実施する。
- ・モデルコースは外国人向けパンフレットやホームページ等で紹介し、積極的に活用する。

実施主体：富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町

参考

中部広域観光推進協議会の「広域観光モデルコース」
中部(東海・北陸・信州)広域観光推進協議会は、「広域化による魅力ある観光圏の創造」を進める施策の一つとして、平成20年12月に「広域観光モデルコース」を策定。国内観光客向けコースと訪日外国人向けコースをそれぞれ25コースずつ作成しており、テーマ、ストーリー性のあるコース(6分類)と、中部の交通プロジェクトを前提としたコース(3分類)に分類されている。

国内観光コースは、中部地域、関西圏および首都圏のいずれからでも発着可能なコースであることを目指しているのに対し、訪日外国人コースは、中部地域の空港や関西国際空港、成田国際空港を発着とするコースになっているのが特徴である。

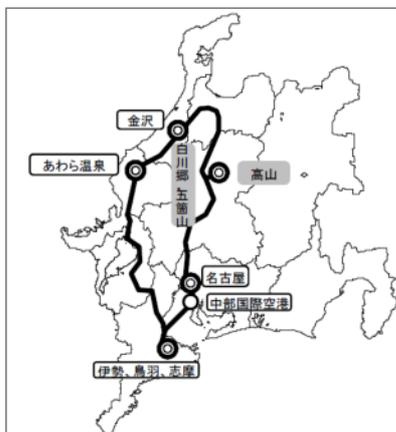
* 次頁は、訪日外国人コース(5泊6日) 世界遺産五箇山・白川郷と金沢・高山のまちなみを散策する旅

訪日外国人コース(5泊6日)

三重・滋賀・福井・石川・富山・岐阜・愛知コース

I - (101)

世界遺産五箇山・白川郷と金沢・高山のまちなみを散策する旅



観光のポイント

★白川郷・五箇山

1995年にユネスコ世界遺産に登録された合掌集落で、手のひらを合わせたように山形に組み合わせた勾配の急な茅葺き屋根を特徴とする住居です。雪深い山里で生活するための工夫が随所に活かされています。

★高山

城下町の中心、商人町として発展した上町、下町の三筋を合わせて古い町並みと呼んでいます。出格子の連なる軒下には用水が流れ、老舗ののれんが軒を連ねる様は昔にタイムスリップしたかのようです。

日次	行 程	宿泊地
1	高速船で45分 車で約40分、鉄道で約20分 中部国際空港～～松阪=====伊勢(伊勢神宮)	伊勢、鳥羽、志摩
2	車で約75分 車で約120分 伊勢、鳥羽、志摩=====亀山(関宿の町並み)===== 車で約105分 長浜(黒壁)=====あわら温泉	あわら温泉
3	車で約20分 車で約100分 あわら温泉=====東尋坊=====金沢(兼六園、金沢21世紀美術館)	金沢
4	車で約60分 車で約50分 金沢=====★白川郷・五箇山=====★高山(古い町並み)	高山
5	車で約60分 車で約90分 ★高山=====郡上八幡(古い町並み)=====海津(千代保稲荷神社、門前 車で約50分 車で約50分、鉄道で約30分 町)=====犬山(犬山城、有楽苑)=====名古屋(大須、栄)	名古屋
6	車で約45分、鉄道で約30分 名古屋=====中部国際空港	

【国際観光対応の充実に関する、その他関連施策・事業】

荷物預かりの充実

ウェルカムショップ、ウェルカムレストランの普及

在日外国人による地域ファンクラブづくり

(17) 観光産業の競争力強化

【主導施策】連泊の楽しみの提供

■狙い

- ・滞在化・リピート化のための課題である“連泊”に関するサービスの充実や、施設面での改善などについて受け入れ側の体制整備を確実に進める。
- ・また、そうした体制整備の状況をフルに活用するために、地域の現状を熟知し、観光客の要望を把握して、最適な宿泊・連泊のアドバイスや手配のできる人材を育成する。

■方策

連泊滞在普及事業

- ・連泊客に対する食事の提供方法や、サービス内容に関することなど、「連泊対応ビジネスセミナー」を実施し、連泊時の楽しみ方の提供など、連泊を受け入れる体制整備と、連泊を促す体験プログラムの造成等により、連泊滞在を促進する。

実施主体：富士河口湖町観光連盟、観光まちづくり団体、富士河口湖町

参考

別府観光推進戦略会議の長期滞在促進のための提言内容
 (「平成16年 別府観光推進策に関する答申 提言書」より)
 長期滞在促進のための滞在メニュー開発と定住の誘致の方策として、以下の内容を提言している。実施時期は長期(5～20年)である。

- (1) 高齢者(主に年金生活者)が湯治と保養・休養を目的として低価格で長期滞在しつつ、自己の健康チェックが出来る滞在商品を販売する。
- (2) 単なる湯治や保養休養、観光だけでなく、高齢者の自己啓発に役立つカルチャーイベント等の提供メニューを付加する。
- (3) 将来的には、空き屋・空きマンションなどを1年、5年、10年という単位で借家できる、一時滞在者向け賃貸システムと広報活動により、定住者の増加を図る。

「宿泊コンシェルジュ」の育成

- ・富士河口湖町への旅行を計画する観光客が問合わせに来た際(予定を立てずに訪れた観光客などに対しても)、希望を聞いて、日程や趣味趣向を加味したプランを提案するとともに、宿泊施設の予約手配などに対応する“コンシェルジュ”を育成する。電話やメールなどで相談を受け付けることができるようにし、案内所との連携も図る。
- ・着地型旅行商品の造成も行いながら、富士河口湖町全体の観光宿泊滞在コンシェルジュとして自立できる仕組みづくりを行う。

実施主体：富士河口湖町観光連盟、観光まちづくり団体、富士河口湖町

参考

函館観光コンシェルジュ人材育成

(社)函館国際観光コンベンション協会、函館雇用創造促進協議会、はこだて生活産業創出研究会は、滞在型観光サービスを担う人材育成事業として、観光コンシェルジュ育成のための国内研修を実施。対象者は、一般から公募し、研修地は、沖縄(20日間、2名)、東京・横浜(10日間、2名)であった。以下は沖縄での研修内容。

(観光政策)

- ・ 那覇空港観光案内視察
- ・ 沖縄観光の現状と政策 (県庁職員・沖縄観光コンベンションビューロー)
- ・ 国内観光論・国際観光論・観光施設・資源研究、観光宣伝論
- ・ ホスピタリティマネジメント

(観光コンシェルジュ関連研修)

- ・ 交通業者とのミーティング・観光タクシー事業のしくみ研修
- ・ 体験型滞在メニューの視察
- ・ コンシェルジュサービス業者・サイト視察
- ・ 体験型・滞在型メニューの視察
- ・ ホテルコンシェルジュサービス研修
- ・ 沖縄リゾートウエディング視察ツアー
- ・ 沖縄健康保養型観光ツアー体験

(移住コンシェルジュ関連研修)

- ・ 沖縄県移住の現状と政策について(県庁職員)
- ・ 移住関連業者とミーティング:沖縄移住ドットコム(.com)、沖縄ライフスタイル、沖縄移住計画、沖縄、楽園計画
- ・ 長期滞在型施設の視察(長期滞在リゾートホテル～ゲストハウス)
- ・ 不動産ビジネス業者とのミーティング
- ・ 長期滞在向けの不動産物件の動向・流通
- ・ ウィークリーマンション、コンドミニアムの視察
- ・ 移住ビジネスモデル研修(総括議論)
- ・ 沖縄移住ガイドサービス体験、沖縄求人動向

高齢者向けサービスの強化事業

- ・ 高齢者対応のプログラムや施設改善、障害者、妊婦、子持ち家族等、旅行の実施に制約の大きい人たちを対象とする魅力的なプログラムの造成や、施設の改善策等を検討し、サービス水準を向上させる。

実施主体:観光事業者、富士河口湖町観光連盟、観光まちづくり団体、富士河口湖町

参考

沖縄県本部町「ホテルマハイナ ウェルネスリゾートオキナワ」の取り組み
沖縄県内のホテルの中でも、いち早く滞在型プログラムを打ち出しており、避寒や病気療養目的で全国から多くの高齢者が訪れる。ホテル内マハイナ塩泉のほか、ウェルネスプログラムとして、沖縄長寿料理教室や水中エクササイズ、ウォーキングなどを実施。
また平成15年には7泊8日で「おきなわ長寿セミナー」を実施している。

【観光産業の競争力強化に関する、その他関連施策・事業】

観光と交通事業者の定期的情報交換

宿泊施設等の高度化支援事業(事例研究、低利融資の斡旋等)

(18) 観光情報提供体制の強化

【主導施策】 やさしい観光情報提供の推進

■狙い

- ・富士河口湖町では、住民も含めて現地の人たちが様々なことについて答えてくれるというイメージを作りだし、安心して観光できる観光地であることを認識してもらい、来訪を促す。
- ・直接接する人々が情報を入手し提供する仕組みを構築し、どこでも、誰でも富士北麓の情報提供ができるようにする。

■方策

「やさしい観光情報提供構想」の推進

- ・平成18年度策定の「富士河口湖やさしい観光情報提供プロジェクト」を着実に具体化する。観光客に対しての情報提供を充実させるとともに、地域イメージの向上に繋げる。

実施主体：富士河口湖町観光連盟、観光まちづくり団体、富士河口湖町

観光情報データベースの充実及び活用促進

- ・観光案内用FAQ（よくある質問と回答）の充実、定期的かつ確実な情報更新など基本的なデータベースの質の向上と、魅力的な楽しみ方を提供できる、短い動画観光案内（プロモーション型、ニュース型等）のストックと活用を図る。携帯電話で解説用のQRコードを読み取って利用出来るような仕組みも充実させる。

実施主体：富士河口湖町観光連盟、観光まちづくり団体、富士河口湖町

参考

二次元コードによる歩行者案内高度情報化(神戸市)
平成18年度に国土交通省が「まちめぐりナビプロジェクト」の一環で行った実証実験の一つ。観光客が所有する携帯電話で街中の案内板に設置された二次元コードを読み取れば、そのポイント周辺の情報が掲載されたHPにアクセスして必要な観光情報等を容易に取得できるというシステムである。



人の顔が見える情報提供網整備事業

- ・サービスの最前線で働く事業者の情報提供能力は観光地全体の魅力向上にも繋がるため、日常的に情報を収集し、活用している人を対象に表彰や認定を行い、対面コミュニケーションを積極的に行うモチベーションを維持していく。

実施主体：富士河口湖町観光連盟、観光まちづくり団体、富士河口湖町

観光案内所ネットワーク整備事業

- ・駅前観光案内所を中核として、各拠点の案内機能の充実を進めるとともに、ビジターセンターやその他、精進湖観光案内所、本栖湖観光案内所、西湖野鳥の森公園や西湖いやしの里根場、河口湖ハーブ館、河口湖ミュージアム、河口湖美術館といった観光施設における案内機能を強化する。

実施主体：富士河口湖町観光連盟、観光まちづくり団体、ふるさと振興財団、富士河口湖町

参考

コンビニエンスストアやコーヒーショップに観光案内所を設置
京都市は、平成19年10月から、市内にあるコンビニエンスストア118店舗と、コーヒーショップ14店舗に、「京都まちなか観光案内所」を設置した。

観光客が気軽に立ち寄る民間の施設と協定を結び、観光情報を発信する。同観光案内所では、観光マップなどを無料配布するほか、店員が簡単な観光案内や道案内も行う。



(19) 旅行者の安全・安心の確保

【主導施策】安全・安心な旅行のための対応マニュアルづくり

■狙い

- ・安心して観光できる状況を担保し、そのイメージを来訪促進にも繋げる。
- ・また、実際にマニュアルを使ってみる演習的な研修を実施し、「使えるマニュアル」づくりを目指す。

■方策

旅行者の安全・安心対応マニュアル作成事業

- ・来訪者に対する、災害、犯罪、傷病、事故等発生を想定した、予防・対策・ケア全般の対応を分かりやすく解説したマニュアルづくりを行う。災害対策については既存のハザードマップを活かす。
- ・日本人対応、外国人対応、山岳、湖水、街中、交通事故等、ケース別に関係機関への連絡、その場ですべき処置などについて整理する。内容は、観光情報データベースにも反映する。
- ・現状把握に基づいて、対応マニュアルを作成するとともに、状況により変化する内容について常に更新が可能なように、検討委員会を設置しておき、現状把握、対応方針、方策等について検討する。
- ・特に、外国人の病気、怪我などの医療関連は、言葉の問題などもあり、問題が複雑なため、関係者、関係機関への詳細なヒアリングや検討を行う。
- ・また、災害や地域での犯罪は、風評被害をもたらす危険性があり、この危険性を回避するための方法についてもマニュアルづくりの中で検討し、対策を講じることが出来るように準備しておく。万が一のことがあっても対応できるようにしていることをPRすることで、地域への信頼を得ることに繋げていく。

実施主体：観光連盟、富士河口湖町

参考

「観光地における避難対策検討マニュアル」の作成
三重県防災危機管理局地震対策室と東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センターは、安心して観光客が訪問できる観光地づくりを進めていくため、大地震発生時の避難対策マニュアルを作成。

<目次>

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. はじめに | 4.3 二次避難についての検討 |
| 2. なぜ避難対策が必要なのか | 4.4 帰宅支援についての検討 |
| 3. 観光地の避難対策として何をすべきか | 4.5 避難対策のアピール |
| 4. 避難対策検討の手順 | 5. 資料 ~用語の定義と解説~ |
| 4.1 避難対策検討の準備 | 6. 事例 ~鳥羽での課題発掘~ |
| 4.2 一次避難についての検討 | |

富士山火山防災避難マップ

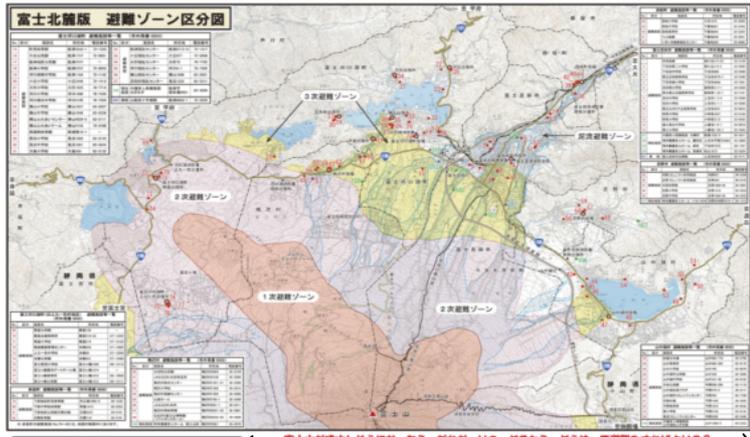
富士山火山防災避難マップ

～もしもの噴火に備えて～ 富士北麓版



富士山は、富士山噴火対策協議会（協議会）によって作成された避難マップです。一方で、この避難マップを基に、富士山北麓版の避難マップを作成しました。この避難マップは、富士山北麓版の避難マップを基に、富士山北麓版の避難マップを作成しました。この避難マップは、富士山北麓版の避難マップを基に、富士山北麓版の避難マップを作成しました。

富士山北麓版 避難ゾーン区分図



1次避難ゾーン
2次避難ゾーン
3次避難ゾーン

富士山が噴火しそうになったら、だれが、いつ、どこから、どうやって避難をすればよいの？

① 臨時火山情報（注意喚起）

富士山の火山活動が活発になり、防災上注意する必要がある場合には、気象庁から臨時火山情報が発表されます。

1次避難ゾーンでの登山や観光は自粛しましょう。

ふもとにいる人も、TVやラジオ、防災無線や広報車などで流される防災情報に注意しましょう。

② 臨時火山情報（噴火の可能性）

さらに活動が活発になり、噴火の可能性がでてきた場合には、気象庁から臨時火山情報が発表されます。

1次避難ゾーンにいる観光客や登山者は、ただちに避難しましょう。

2次避難ゾーン、3次避難ゾーンにいる人も避難の準備をしましょう。

特に、避難に人の手が必要な方は、あらかじめ危険な範囲（2次～3次避難ゾーン）からの早めの避難が必要です。

③ 緊急火山情報

火山現象による災害から人の生命および身体を保護するために必要がある場合には、気象庁から緊急火山情報が発表されます。

観光客や登山者は、できるだけ危険な範囲から遠ざかりましょう。

市町村からの避難勧告や指示にしたがって、当面危険な範囲（2次避難ゾーン）から避難しましょう。

3次避難ゾーンにいる人にも避難準備や帰宅、観光の自粛をお願いします。

火山活動が急激に活発化した場合には、いきなり緊急火山情報が発表されることもあります。火山活動に変化があった場合、あるいは上記の臨時火山情報、緊急火山情報を消したり解除したりする場合などに火山観測情報が発表されます。

→ 気象庁からの火山情報や、市町村からの避難情報にしたがって、落ち着いて行動をしましょう。

最新の火山情報は気象庁のホームページでもご覧いただけます。
<http://www.jma.go.jp>

【旅行者の安全・安心の確保に関する、その他関連施策・事業】

- 防犯パトロールの実施
- AED 設置促進と救命講習の継続的参加の呼びかけ

(20) ユニバーサル観光の推進

【主導施策】誰もが楽しめる観光地づくり

■狙い

- ・老若男女、障害の有無に関わらず、観光を楽しめる地域を目指し、また今後もユニバーサル環境を向上させるために、観光事業者や住民のユニバーサル意識の醸成を図る。

■方策

ユニバーサル意識の醸成

- ・公共空間でのユニバーサル化の推進とともに、環境整備に関する広報を積極的に行い、整備箇所の体験機会を設けるなど、住民や観光事業者のユニバーサル意識の醸成に結びつける取組みを実施する。

実施主体：観光まちづくり団体、富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町

参考

松江市におけるバリアフリーセミナーの実施
平成 20 年 11 月、松江市において、一般市民の交通や観光のバリアフリーに対する理解促進と、バリアフリーの視点からのまちづくりについて考えることを目的に「交通・観光バリアフリー推進セミナー in 松江」が開催された。主催は、国土交通省中国運輸局 / 国土交通省中国地方整備局 / 島根県 / 松江市

ユニバーサル情報の整理と発信

- ・市内のどこでどのようなユニバーサル対応が行われているかを把握し、宿泊や飲食、散策環境や水際での遊びなど活動別の整理などを行い、検索可能なデータベースを作成するとともに、インターネットを経由したデータベース検索の方法や、観光案内所や観光施設等の情報提供スポットを知ってもらうためのパンフレット等を作成・配布する。

実施主体：富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町

参考

長崎市 バリアフリーマップ

長崎市は、市内を19の主要な観光エリアに分け、各地区のバリアフリーマップを作成し、市のHPで公開している。地図には、サービスの案内(車椅子貸し出し、手話対応)や、設備案内(車椅子トイレ、エレベーター、障害者用駐車スペース)、車椅子で乗降可能なバス停留所が表示されている。

バリアフリーマップ5 グラバー園・オランダ坂周辺

1 四海樓
Tel095(822)1296

 車いすトイレがあります
車いすトイレがある中華料理店
四海樓の4階には車いすトイレがあります。

2 オランダ坂
坂の町長崎のシンボル



坂の多い長崎の中のシンボリックな存在がこのオランダ坂です。昔ながらの異国情緒が残る石畳、特に右図の赤部分はぜひご覧ください。

昔の人の技術に感心



長崎の昔ながらの石畳を見ると石が少し斜め方向に組んであるのがわかります。それは雨水が流れやすいように工夫されているからです。側溝の断面形状もV字型になっています。昔の石工さんの知恵には感心します。



1 四海樓 **2 オランダ坂**
3 グラバー園 **4 長崎全日空ホテルグラバービル(旧慶)**
5 長崎県営松ヶ枝町駐車場(詳細はバリアフリーマップ19を参照してください。)

坂道はつらいけど～ 昔ながらの風情が残っている洋風住宅群へ



一ロメモ交通 車いすで乗ることのできるワンステップバス(長崎バス)は中央橋～小曾根の間は乗降できません。中央橋方面行きは松ヶ枝営業所前で乗降できます。(詳細は車いすで乗れるバスの路線と乗降できる停留所を参照してください。)石畳で有名なオランダ坂は長く急な坂道になっているため車いすによる通行は介助者が付いていてもまず無理です。オランダ坂の観光の場合にはマイカーか車いすタクシーの利用をお勧めします。

[前へ](#) [トップページへ](#) [次へ](#)

【ユニバーサル観光の推進に関する、その他関連施策・事業】

サービス介助士の普及促進

観光施設でのユニバーサル化普及事業

公共インフラ(道路空間、公園、公共施設)のユニバーサル化